

1. 開催年月日 令和4年11月28日(月)

2. 開催場所 「御膳茶屋」(東京都西東京市田無町2丁目1-1)

3. 出席委員

委員総数 6名

出席委員数 2名 出席委員 山本委員 小松委員

レポート提出数 3名 ・レポート未提出 1名

放送事業者側出席者

佐藤芳幸(代表取締役社長)、飯島千ひろ(室長)、青木崇(番組プロデューサー)

4. 議 題

「藤原浩のやすらぎの小径」

毎月第3週月曜日12時15分～12時45分生放送

再放送 翌日火曜日19時30分～20時

5. 議事の概要

あらかじめ送付した番組を録音したCDを聴いていただき審議。

6. 審議内容

(山本委員) プロの演歌歌手の番組ということで、安定・安心感があった。こなれている感があったので、少し慣れすぎている感じもした。

(小松委員) 30分間飽きさせない番組。曲としゃべりの音量の差が大きいときがあった。

トーク内で出てきた「女心と秋の空」という言葉が気になった。何気なく話した言葉でも、受け取る側の気持ちも配慮してほしいと感じた。

(下川委員長・レポートより) プロの歌手ということで聴きやすく安心して聴けた。「くらしの便利帳コーナー」や「クッキングコーナー」など聴きごたえがあった。曲とトークの音量差が気になったが、トークと曲のメリハリをつけていると理解した。

(伊藤委員・レポートより) 地元のファンからのメールへの返しなどがほのぼのしていてよかった。長く続けていただきたい番組。

(賀陽委員・レポートより) 藤原浩さんがよどみなく話をされていてお話が上手!と感じた。アシスタントの女性がもっとお話をされてもよいかなと思った。

(局側の回答)

番組のターゲットとしては、西東京市民というより、藤原さんのファンに向けて放送してる番組。トークと音のバランスについては、昔、楽曲の音量が小さいというご意見があったので、音量を大きくしたという経緯がある。今後、藤原さんと相談していく。

言葉使いに関して、該当の言葉が、歌の歌詞にもなっていることもあるが、配慮して放送していきたい。

7. 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

なし

8. 審議機関の答申または意見の概要の公表

自社放送 事務所への備え置き、自社 HP での掲載

9. その他の参考事項

なし